

研究報告) 着物リプロダクション —授業における着物リメイクのアイデア創発—

Kimono reproduction -Creating ideas for kimono remakes in class-

大野淑子¹⁾ 大西典子¹⁾ 富田知子¹⁾

抄録

山野美容芸術短期大学のファッションの授業において、エシカル(倫理的、環境や社会に配慮する)ファッションの実践として、企業と共同し「着物リプロダクション」と題して着物のリメイク商品のアイデア創発を行った。山野美容芸術短期大学では「着装」の授業があるため、身近な着物を活用した優れたアイデアが多数生まれた。また古い着物を活用することの意味や必要性についても考える機会となり、ファッション業界の未来を推論する体験となった。

さらに企業が評価した優れたアイデアを考えた2名の学生がコンソーシアム八王子学生発表会において「着物リプロダクション」の取り組みや自分たちのアイデアについて発表した。

キーワード：エシカルファッション 着物 古い着物 リメイク アイデア創発

I. 緒言

近年、低価格に抑えた衣料品を短いサイクルで世界的に大量生産・販売するファストファッションの台頭によって、衣服が大量生産され、環境問題に発展してきた。衣服の価値が下がり大量に廃棄される中で、持続可能性への関心が高まり、倫理的で環境や社会に配慮したエシカルファッションのアプローチが注目を集めている。一方で、着物は日本の伝統的な文化や価値観を象徴するものであるが、着る人が減り、家庭のタンスに約3,000万点、金額にして8兆円相当が眠ると言われている。それらの着物の多くが、所有者の高齢化や死亡などで次世代に受け継がれたタイミングで、取り扱いに困って廃棄されている現状がある。着物の価値が理解されずに、安価で販売され大量に廃棄される現実を正しく受け止め、エシカルな視点で考える力を身につける必要がある。今回はファッションの授業の中で、ファッション業界におけるこれらの問題を学び、理解を深めるために、古い着物を活用するリメイク商品のアイデア創発を行った。

II. アイデア創発の方法

以下の方法で着物のリメイクのアイデア創発を行った。アイデア創発の際は、企業から提供していただいた古い着物や着物雑貨、革製品等を発想源とした。

1. 1人でアイデアを考える
2. グループ3~4名でアイデアを共有し、ブレインストーミングする
3. 他の方のアイデアを参考に1人で考える
4. アイデアスケッチを作成する
5. アイデアスケッチをクラス全員に共有し、優れたアイデアを抽出する
6. 企業の方々の前でプレゼンテーションし、フィードバックをもらう

アイデア創発は石井力重氏の手法を活用した。一人で考える時間とグループで考える時間を交互に設け、他の方のアイデアを参考にしながら自分のアイデアをブラッシュアップできるようにした。またブレインストーミングのルールとして、

- ① 誰かのアイデアの良いところをほめる
- ② できるかどうかわからないアイデアを出す
- ③ 質にこだわらずたくさんアイデアを出す
- ④ 誰かのアイデアをヒントにアイデアを出す

を意識させ、自由に意見を出し合うようにした。アイデアスケッチは、A4横書きで1枚の紙に1つのアイ

1) Yoshiko Ohno, Noriko Onishi, Tomoko Tomita
山野美容芸術短期大学
連絡先: 〒192-0396 東京都八王子市鎌水 530

デアとし、タイトルを一言で表現し、左側に絵や写真などでアイデアを表現し、右側に簡単な説明を記入するもので、課外課題として期限を設けて提出させた。

アイデアスケッチを複数提出する学生もおり、3クラスの履修者93名でのべ182のアイデアが生まれた。似たアイデアでもスケッチが優れていて伝わりやすいものや、コンセプトが優れているものなどもあった。すべてのアイデアスケッチを机の上に並べて、皆で見て回り、「面白い」「広がる可能性がある」と感じるものすべてに印をしてもらい、印の多いアイデアを抽出してクラス内でアイデアレビューを行った。なお、アイデアスケッチは名前を記入しないので、見て回る際には誰のアイデアかわからない。その後、評価の高かったアイデアを考えた学生が、企業の方々にプレゼンテーションし、表彰とフィードバックをもらった。

III. アイデアの評価

企業の方々に評価していただいたのが以下のアイデアである。表彰とともにその理由について一つひとつ丁寧に評価していただいた。

■最優秀賞

- ・観光バスのシート
- ・ランドセルカバー

■優秀賞

- ・車いす
- ・ペットの服

■企画賞

- ・カーテン・プリザーブドフラワー
- ・ペットボトルカバー・バケットハット
- ・卒業証書の筒・のれん・こたつ布団
- ・スカーフ・キャップ・ヘッドホン
- ・サッカーボール・ぬいぐるみの服・エコバッグ
- ・エプロン・メイクパレットケース・リップケース
- ・ネイルチップ・シューズ・現代着物
- ・ドレス・傘・傘の柄・ネクタイ
- ・ハンドバック・ヘアアクセサリー

【着物プロダクションに対する学生の感想(抜粋)】

- ・アイデアを考えるのがとても楽しかったし環境に良くていいなと思った。
- ・色んなグループの意見が聞けて良かった。
- ・現代ではなかなか着ない着物もリメイクすれば色ん

なことに使えると思った。

- ・色々なアイデアがあってみんなほんとにすごいなと思いました。
- ・自分では思いつかないようなアイデアがたくさんあって、こだわりが強い人もいて、みんなの力が合わさってたくさんアイデアを出していけば最強だなと思った。
- ・自分では思いつかないようなアイデアがたくさんあって面白かった。思っていたよりも、着物は色々な物に使えるなと感じた。
- ・考えたことを形にする楽しさと難しさを体感することができた。
- ・着物はとても可愛いので、その文化をなくさないように若い人が積極的に取り入れたり関わったりすることが大事だと思った。商品にできなくてもできなくても開発に関わる経験ができて楽しかった。
- ・伝統を絶やさないためにも既存のものを新しくリメイクすることが重要だと思った。
- ・みんなのアイデアがすごく素敵で、本当に商品として存在すればいいのになあと思った。
- ・着物の奥深さや可能性をとても感じたので、もっと世の中にも着物の可愛さや美しさが知れ渡ればいいなと思います。
- ・今まで考えたことがなかったですが、家に捨てるものがあつたら、何か他のものに変えられないか考えてみようと思いました。
- ・着物がこれから世界的に普及して行ってほしい。
- ・自分じゃ思いつかないアイデアがたくさんあって、発想の参考になりました。
- ・着物のリメイクはたくさん可能性があること知ることができて面白かった。
- ・みんなの発想力の高さに感動した。
- ・実際に商品開発みたいなことをして、ターゲットとか色々考えてみるのが楽しかったです。
- ・商品化されるかもしれないものを作るのは楽しい。着物をリユースできると社会貢献にもつながるのもっと頑張りたいです。
- ・着物をつないでいくために、よりよいものを作るよう取り組むのがとても楽しかったです。
- ・色々な着物のアイデアがあって自分も参考になったし、楽しかった。
- ・自分のアイデアがみんなに評価されてとても嬉しかった。

IV. 考察

「着物リプロダクション」は、企業と連携して学生主体的に考えるように導くアクティブラーニングの取り組みと言える。学生の感想からは、社会課題への理解が深まっていることがわかり、また、アイデア創発を楽しみながら取り組んでいる様子が伺えた。さらに、企業から多くのアイデアに対して丁寧に評価していただいたことで、学生の自己肯定感が高まり、今後の授業や将来の仕事につながる可能性も高いと考えられる。学生のアイデアはとても優れていた。これは、山野美容芸術短期大学が考える力を育み、主体的行動力や課題解決力をディプロマとして掲げていることや、着装を学んでいることが影響しているものと考えられる。

企業の方々には継続した取り組みを提案していただいたが、本格的に商品化を進めるには授業内だけでは限界があることが課題であった。企業と本格的な商品化を進めるには、授業外で取り組みを継続し、企業と一緒にマーケティングを行いながらターゲットを決めた商品アイデアに展開することが必要となる。

おわりに

「着物リプロダクション」の取り組みを、第15回大学コンソーシアム八王子主催の学生発表会で発表した。発表した学生は企業から最も高い評価をいただいた2名の学生である。2名の学生は発表会に向けて自分たちのアイデアをどう伝えるべきか議論しながら熱心に準備に取り組んだ。発表では着物リプロダクションの具体的な取り組みと、自分たちのアイデア（図1、図2）について述べた。学生はこの経験について、以下のように振り返っている。

「着物リプロダクション」の授業で自分の可能性を知り自己肯定感が上がった。学生発表会に挑戦したことで主体的行動力と課題解決力が身についた。この経験を今後の学生生活や就職活動に活かしていきたい。

なお、八王子コンソーシアム学生発表は、加盟する八王子の25大学の学生にエントリーする権利があり、技術・工学・産業技術をはじめとした日頃の研究成果や、八王子市の活性化に関する提案等を発表する機会である。山野美容芸術短期大学も、日頃の成果を発表することで大学生らしい経験の機会になること、また、学生の能力を伸ばし自己肯定感や将来の可能性を広げることを目的として、これまでもさまざまなテーマで参加してきた。2023年度の学生発表会では、過去最多の300件を超える発表が行われた。

謝辞

ご協力いただいた以下の企業の皆様には、着物や雑貨の提供、企画のご提案、学生アイデアの評価など、さまざまなご協力をいただいた。

辻正雄様（デジタジオ株式会社）

河野貴子様（着物サロン ORZA）

鈴木啓嗣様（株式会社渡喜商工）

割田栄二様（株式会社読売情報開発）

塚田育男様（株式会社シナノ企画）

に心より感謝申し上げます。

利益相反の有無

なし

参考文献

- 1) 株式会社矢野経済研究所 呉服市場に関する調査
https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2969
(2023.12.20)
- 2) FUNDINNO 着物文化の価値を再発見
<https://fundinno.com/projects/431> (2023.12.20)
- 3) エシカルライフ
<https://green-note.life/1073/> (2023.12.20)
- 4) NPO 法人 アイデア創発コミュニティ推進機構
http://www.i-con.or.jp/activity/f_idea_list.html (2023.12.20)
- 5) アイデアプラント
<https://ideaplant.jp/about/> (2023.12.20)
- 6) 石井力重, アイデア・スイッチ, 日本実業出版社, 2009
- 7) 田中淑江ら: 着物のサステナビリティを学ぶための実践教育, 2023, 共立家政紀要第69号, p53-66
- 8) 竹本由美子ら: 繊維リサイクル・リデュース・アップサイクルによるSDGsへの取り組み, 2021, 生活環境学研究 No.9, p28-31
- 9) 光松佐和子: サステナブルファッション実現のためのアプローチ, 2023, 羽衣国際大学人間生活学部紀要第18巻
- 10) 大学コンソーシアム八王子学生発表
<https://gakuen-hachioji.jp/main-business/presentation/>
(2023.12.20)

(英文タイトル)

kimono reproduction

-Creating ideas for kimono remakes in class-

提出日: 2023/12/28

商品タイトル ランドセルカバー

絵・写真



- ・ 子供の頃から着物の柄に触れる事で伝統を学ぶ良いきっかけになると考えた。
- ・ 通学路を列を作り歩いている小学生たちの背中に華やかな柄があったら、それを見る地域の人たちも明るい気分になれると考えた。

図1：最優秀賞のアイデアスケッチ①（美容総合学科・インナービューティコース1年 坂倉雛乃）

商品タイトル バスのシート

絵・写真



じゃらんネット引用

- ・ 着物の生地を路線バスや観光バスのシートに使うと着物の色や柄で華やかな雰囲気になる。
- ・ 乗客が着物の魅力を感じてバスに乗るのが楽しくなる。
- ・ 外国人が観光で乗車する際にも日本文化に触れ合う時間を作ることができる。
- ・ バスガイドの話題にできる。

図2：最優秀賞のアイデアスケッチ②（美容総合学科・インナービューティコース1年 外山浩志朗）